

地域社会に貢献できる会社を目指して — 栗山造園株式会社 —

企業概要・沿革

当社は、昭和40年4月に設立、昭和60年に板橋区に本店を移転し、造園業を営んでいます。主な事業は、板橋本社では官公庁の植栽工事・街路緑化・樹木診断・公園等の維持管理等の仕事をメインに、マンションや民間企業、個人宅などの植栽管理などになり、有明事業所では高速道路緑地帯の維持管理になります。

当社のような事業は、どれも人の手でなければできない作業です。社員は25名ですが、「緑豊かな環境づくりを通じて、人々の心を豊かにします」という経営理念のもと、少数精鋭を目指し社員一人ひとりがプロ意識をもち、技術向上のために努力を惜しまず日々取り組んでいます。

特徴として・・・

当社社員は、お客様に100%ご満足いただける作業をするよう心がけています。私も常に会社の売上は、お客様からの「ありがとう」の量であると社員に伝えています。

そのためには、まずは社員や家族、及び当社事業に関わるすべての方が健康でなければなりません。より良い仕事をするために何か会社でできる事はないのかと8年前から真剣に考えるようになり、経済産業省の「健康経営優良法人」の認定に向けて取り組みを始めました。少しずつ、社員の健康への配慮や労働環境を整備し、6年連続で「健康経営優良法人」の認定を受けることができています。

今後もお縁を大切に、信頼を積み重ね、地域社会に恩返しのできる会社を目指していきます。



当社作業の様子

BCP策定への取り組んだ理由

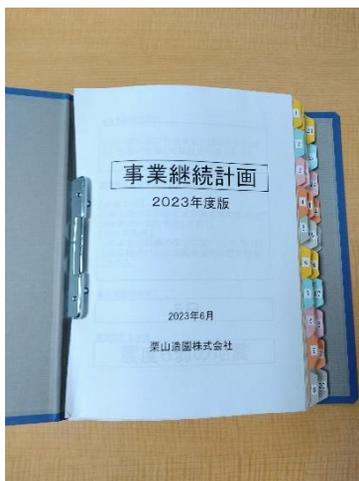
当社事業の中に、道路や公園等の緑地維持管理作業などがあります。大雪や台風などがあった際は、倒木などの危険箇所がないかタイムリーに確認することも重要な業務の1つです。万が一に備え、日頃からSNSによる安否確認は実施してきました。

コロナ禍では、お客様にご迷惑をおかけすることが無いよう、社員の感染予防を徹底しました。日々の健康観察だけでなく、空気清浄機の導入、パーティションによる飛沫防止、少人数での作業調整等なども行い、2週間に1回の抗原検査と月1回のPCR検査を実施してきました。

数年前にBCP策定を勧められ、自らインターネットで情報を得てBCP文書を作成するなど高い防災意識を持つように心がけてきましたが、今回、自ら作成したBCP文書を見直し、有事の際にBCPをより使えるものにしたいとの想いから板橋区簡易型BCP策定支援事業による訪問支援を申し込みました。

策定にあたり特に注力した点

策定は板橋区簡易型BCPファイルのひな形に沿って、それぞれ文書を揃えていきました。当社の事業内容で復旧に必要と思われたデータは、新たにファイルに付け加え、実際に使えるBCPファイルの作成を心掛けました。



策定されたBCP文書ファイル類



栗山造園株式会社
代表取締役 石井洋美

BCP策定の感想・効果

BCPの取り組みは、地域社会の課題解決に貢献するための取り組みとはいえ、SDG sにも関係していると思います。当社は、今回、板橋区SDGs/ESG経営推進支援も受け、SDG s 経営に取り組んでいるところです。

BCP策定支援を受けて、有事の際の早期復旧のために必要な書類を揃えることができました。担当社員と一緒に行うことで、会社全体の見直しにもつながり、2つの事業所が距離的にも離れており、それぞれの事業内容も異なっているため、有事の際の社員間連携など様々な課題を見つけることができました。

策定したら終わりではなく、定期的に見直し、これから従業員と共有する機会を設け、全員で取り組んでいきます。

事業者情報	
事業者名	栗山造園株式会社
本社所在地	東京都板橋区板橋2-54-10
設立	昭和40年4月
資本金	5100万円
従業員数	25名
代表者	石井洋美
Tel	03-3579-3011
URL	https://www.kuriyamazouen.co.jp